

事務事業名	図書館管理運営事業			事業コード	10051200101
所管部署	丸岡図書館	電話	67-1500	記入者名	渡邊 景子
事業対象	坂井市民全般、および市内通勤者、通学者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	図書館法			
根拠例規	有	坂井市立図書館条例、坂井市立図書館条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画、坂井市子どもの読書活動推進計画			

【事業の概要】

地域社会の情報拠点として、幼児から学生、高齢者までの幅広い利用者の生涯学習の推進を図る。

【事業内容】

- 図書館資料の収集整備、貸出、情報提供
- おはなし会や講演会の開催及び配本等による読書普及活動
- 施設の維持管理

○報酬（図書館協議会委員報酬） 90千円

○賞金（臨時職員賞金） 36,805千円

○報償費（講師謝礼、協力者謝礼） 428千円

○費用弁償 37千円

○旅費（講師旅費他） 41千円

○需用費 13,254千円

- ・消耗品費（定期刊行物購読料、新聞代他） 7,209千円
- ・その他需用費（印刷製本費、光熱水費、修繕費他） 6,045千円

○役務費（電料他） 989千円

○委託料 9,261千円

- ・図書館システム保守委託料 4,100千円
- ・その他委託料 5,161千円

○使用料及び賃借料 12,192千円

- ・図書館システム使用 7,972千円
- ・その他使用料及び賃料 4,220千円

○備品購入費（図書購入） 230,000千円

○負担金（図書館協会負担金） 39千円

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
			報酬	90	千円						
			委託費	9,261	千円						
			需用費	13,254	千円						
			役務費	989	千円						
			その他	35,785	千円						
			事業費合計	59,379	千円						
	人件費										
	正職員	0.00	人								
	臨時職員	0.00	人								
	人件費合計	0.00	人								
	総事業費										
	事業費										
	特定財源										
国県支出金											
使用料・手数料											
分担金・負担金											
地方債											
その他	261	千円									
一般財源	59,118	千円									
財源合計	59,379	千円									

	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度					
【事業の成果】	成果	市民一人あたりの貸出冊数	冊	目標値	8.2	達成率	8.1	達成率	8.0	達成率	7.9	達成率
				実績値	8.5	103.66	8.5	104.94	8.1	8.0		
活動	図書資料費	千円	目標値	24,000	達成率	24,000	達成率	24,000	達成率	24,000	達成率	
			実績値	23,000	95.83	28,000	116.67	23,000	23,000			
				目標値		達成率		達成率		達成率		
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		
				実績値								

すぐに行ける改善提案	23年度の図書館職員体制より、春江図書館の職員を1名減としました。		
目標年度	平成27	年度	
取組状況	コスト削減のため実施した職員削減は、利用者の方々へのサービス低下につながったところもありました。今後、いろいろな角度から、サービス低下にならないような取り組みの方法を考えていきたいです。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき、多様な資料の提供を基本としたサービスの充実と子ども読書活動の推進を図ることにより、利便性と読書環境を改善していきます。		
目標年度	平成27	年度	
取組状況	市民全体には、なるべく多種多様な資料を収集し整備できるよう、利用者の方々からのリクエスト、また、司書による図書館として整備したい資料などをいろいろな角度から検討し、発注を実施しました。子どもの読書活動推進事業としては、今年度も絵本ライブや読み聞かせ講座の開催、学校配本、学校へのポスター、各種行事などさまざまな取り組みを企画し実施しました。		

【担当者評価】	妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
		【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
		【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
		【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	図書館の資料収集整備、貸出、情報の提供は市民のニーズに適合していますのでこのまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	市の施設でもあるので、運営の見直しがされるまでは市が実施する。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	坂井図書館の従来から問題であった施設整備については改善されましたが、住民に対するサービスの面で職員が不足しているため、新たな人件費の投入をお願いします。			
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	現在の坂井図書館は、事務所も狭く6名しか配置できない状況であったが、他の市内の図書館と比較すると、職員のローテーションにも支障があり職員の負担も大きくなっているため、新年度では1名分の人件費の増加をお願いしたい。			
すぐに行ける改善提案	図書館サービスの向上のためには、資料を充実させることが必要不可欠であるため、資料の予算を確保するためにも、施設の運営管理の内容の総点検を実施して経費削減を図るとともに、必要であれば事業の変革を行う。			
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	限られた財政の中で、図書館資料の充実を図っていくためには、図書館全体の事業を見直し、無駄な経費を削減し、委託事業（窓口の外部委託）等と比較しながら効率化を図っていく必要があります。また、坂井市教育振興基本計画に基づき、多様な資料の提供を基本としたサービスの充実と、子ども読書活動の推進を図ることにより、利便性と読書環境を改善していきます。			
目標年度	—	年度		

【事業の成果】

事務事業名	記念文庫等管理運営事業 丸岡			事業コード	10051205101
所管部署	丸岡図書館	電話	67-1500	記入者名	渡邊 景子
事業対象	坂井市民および市内通勤者、通学者、全国の研究者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無	図書館法			
根拠例規	無	坂井市立図書館条例、坂井市立図書館条例施行規則			
関連計画・マニュアル	無	坂井市教育振興基本計画、坂井市子どもの読書活動推進計画			

【事業の概要】

中野文庫及び小葉田文庫の蔵書、遺品の維持管理・収集を行うとともに、中野重治氏と小葉田淳氏を文化的先駆者として啓蒙を図る。

【事業内容】
中野重治氏を偲ぶ「くちなし忌」の開催や生家跡の管理、各文庫の資料の収集整理、保存を行う。

○報償費（講師謝礼、出演者謝） 85千円
○費用弁償 20千円
○需用費（事務用消耗品費、光熱費他） 71千円
○役務費（トイレ汲取料） 4千円
○委託料（樹木選定業務委託料） 294千円
○使用料及び賃借料（トイレ借上） 31千円
○負担金（中野重治の会負担金） 5千円

【事業の目的・事業の概要等】

すぐにできる改善提案	講演会や、行事を開催しながら、市民に対し、文庫を利用してもらうために、啓発をしていきます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	文庫の予算も十分ではなく、今のところ高額な資料の購入は望めませんが、貴重な資料を大切に保管しながら、利用者に見学や資料の閲覧サービスをしています。これら偉人を1人でも多くの人に知ってもらうためにも、毎年成人大学などとタイアップして講演会などを開催し、啓蒙を深めたいと考えています。
中長期的に取り組むべき改善提案	今後、中野重治関係の研究者が高齢となり、個人が所有する、直筆の資料等について、寄贈の申し込みが増加する傾向にあるので、その資料収集に努めながら、記念文庫としての取り組みを進めてまいります。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	当分の間、各図書館の文庫の資料は図書館内に保管し利用者の希望に応じて文庫内の見学や資料の閲覧、また、必要に応じてレファレンスを受けるなどのサービスを続けますが、長期的な構想としては、やはり文庫は市内1箇所に集約して学芸員など専門的な職員が管理していくことがふさわしいと考え検討していきたいと思ひます。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	294 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	71 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	3 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	142 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	510 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.20 人	1,422 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.20 人	1,422 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		1,932 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源			1,932 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計		1,932 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	記念文庫は藩政以来400年以上の歴史と伝統をもつ旧丸岡の城下町であり、歴代藩主は幾多の学問芸術に秀でた人材が輩出されています。近代文学作家、中野重治氏と小葉田敦氏の逝去により両氏の膨大な蔵書が町に寄贈されたことにより、現図書館が建設されたことを考えると、両記念文庫に関する講演会については両賢人の威徳を市民に知らせる為にも継続していきたいと考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	講演会実施については、両氏の講演会の参加人員の年齢を考えると、皆高齢化しており、運営を任せるのは困難と考えられます。このことから実施主体は、今後図書館の運営方針が変更されるまでは、郷土文化の高揚のためにもこのまま実施すべきと考えます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	今後、記念文庫としての運営方針が決定されるまでは、このまま実施すべきと考えます。			
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	全国的な著名な作家の記念文庫と考えると、その資料を有効に活用した取り組みをすべく、大学との共同研究も出来ますが、それに対応した市の職員も必要だと考えられるので専門職の人員の確保を望みます。			
すぐにできる改善提案	市民に対しての講演会や、様々な行事を開催しながら啓発をします。			
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	両氏関係の研究者が高齢となっていますので、今後、その研究者が保有する貴重な資料について、寄贈の申請が増加する傾向にあるので、その貴重な資料の収集に努めながら、記念文庫の取り組みを進めていきたいと考えています。			
目標年度	—	年度		

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
成果	中野重治記念文庫見学者数	目標値	150	達成率 150	達成率 150	達成率 150		
		実績値	167	111.33	173	115.33	178	118.67
成果	小葉田淳記念文庫見学者数	目標値	50	達成率 50	達成率 50	達成率 50		
		実績値	65	130	54	108	78	156
活動	講演会参加人数	目標値	180	達成率 180	達成率 180	達成率 180		
		実績値	180	100	200	111.11	187	103.89
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						

【事業の概要】

【事業の目的・事業の概要等】

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	図書館施設整備事業			事業コード	10051210101
所管部署	丸岡図書館	電話	67-1500	記入者名	渡邊 景子
事業対象	坂井市民全般、および市内通勤者、通学者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無	図書館法			
根拠例規	無	坂井市立図書館条例、坂井市立図書館条例施行規則			
関連計画・マニュアル	無	坂井市教育振興基本計画、坂井市子どもの読書活動推進計画			

建設後25年が経過し、老朽化し、収納冊数に対して手狭となっている坂井図書館を新築移転し、サービスの向上を図る。

【事業内容】
現在行っている坂井中学校の改修にあわせ、坂井図書館を中学校敷地内に地域図書館として整備する。
【スケジュール】
・工事開始 平成24年6月末
・工事完了 平成25年1月31日
・1月より休館し、図書資料、備品等の移動・整理
・平成25年5月1日開館
【施設概要】
・鉄筋コンクリート平屋造（約1,120㎡）
・駐車場 29台（坂井中学校体育館と共用）
・当初収容冊数 約86,000冊
・学習席 14席 児童席 16席

○需用費（椅子布地張替え・脚カト等） 559千円
○委託料（移転配送） 1,974千円
○工事請負費 292,962千円
・坂井図書館新築工事費（建築工事費）
（電気工事費）
（設備工事費）

・IT機器整備工事費 453千円
○備品購入費 5,000千円

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	1,974千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	559千円	千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	297,962千円	千円	千円	千円				
		事業費合計	300,495千円	千円	千円	千円				
	人件費	正職員	1.55人	11,019千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.55人	11,019千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	311,514千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
			地方債	259,500千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		52,014千円	千円	千円	千円					
財源合計	311,514千円	千円	千円	千円	千円					

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率			
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								

すぐに行ける改善提案	新館建設ができるだけ順調に進むように努力します。
目標年度 平成24 年度	
取組状況	新館の建設に向けての入札、また進捗状況を把握しながら工事が計画通り進むように配慮しました。図書館内のレイアウトや、書架の配置などについても、利用者が、スムーズに館内を歩き、快適に利用できるように細心の注意を払いながら見直しをかけ、作業を進めました。
中長期的に取り組むべき改善提案	新築移転のため、当分の間は、このまま維持管理していきます。
目標年度 平成24 年度	
取組状況	建設事業に関しては今年度でこの事業は終了するため、中長期的な取り組みはありません。施設の維持管理については、今後図書館管理運営事業で、必要なメンテナンスを行っていきます。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	完了しました。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	図書館運営管理事業として実施していきます。			
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	市の施設でもあるので、運営の見直しがされるまでは、市が実施する。			
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	坂井図書館は坂井中学校に併設されている。空調設備を運転する時間が増えることが予想されるために増加の見込みになっている。			
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	坂井図書館の建設が終了するので、建設に伴う人件費は減となる。			
すぐに行ける改善提案	図書館サービスの向上のためには、資料を充実させることが必要不可欠であるので、資料の予算を確保するために、施設の運営管理の内容の総点検を実施して経費節減を図るとともに、必要であれば事業の変革を行う。			
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	限られた財政の中で、図書館資料の充実を図っていくためには、図書館全体の事業を見直し、無駄な経費を削減し、委託事業（窓口の外部委託）等と比較しながら効率化を図っていく必要があります。また、坂井市教育振興基本計画に基づき、多様な資料の提供を基本としたサービスの充実と、子ども読書活動の推進を図ることにより、利便性と読書環境を改善していきます。			
目標年度	—	年度		

【事業の成果】